



戦後80年こうとう市民プロジェクト主催 上映会

1996年 日本映画／カラー／ビスタサイズ／110分

GAMA

月桃の花

一九四五年—夏、沖縄。
洞窟（ガマ）の前には
まだ散りかねている
白い月桃の花があつた……



朝霧舞

(第一回主演作品)

知花章

平良進

中里友豪

平良とみ

吉田妙子

玉木初枝

ウエチ雄大

川平慈英

國村隼

沖田浩之

上映協力券：

前売り・ご予約 1000円

※ご予約の方は当日精算となります。

当日 1200円（予約なしの方）

高校生・障がいのある方：500円

中学生以下無料

文部省選定

沖縄県・沖縄県教育委員会推薦

主題歌「月桃」

作詞／作曲 海勢頭 豊

歌 朝霧舞

国吉なおみ

国吉 昭子

監督：大澤 豊 原案／脚本：嶋 津与志 企画／脚本：橘 祐典 撮影監督：岡崎 宏三 監督補：松本 泰生

製作／音楽：海勢頭 豊 美術：山崎 秀満 録音：瀬川 徹夫 上映プロデューサー：佐藤 雅之

製作：こぶしプロダクション／映画 GAMA-月桃の花を成功させる会 製作協力：沖縄県／糸満市／沖縄戦記録フィルム1 フィート運動の会 配給：ジージーエス

9月23日（火・祝）13：30 開場

14：00～15：50 上映

16：00～16：50 解説：牛島貞満さん

（沖縄第32軍牛島満司令官の孫・元小学校教諭）

会場：深川江戸資料館 B1 レクホール

都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」、A3 出口より徒歩3分

お申込み・お問い合わせ：戦後80年こうとう市民プロジェクト peacekoto80@gmail.com

TEL:090-8508-9722（事務局・あしざわ）上映協力券お申込みはQRコード、メール、お電話で受け付けます。



QRコードからも
申し込めます。



戦後50年目にして初めての
『沖縄県民映画』

GAMA
月桃の花

これは全国民必見の映画であり
また、世界中の人々にうたえる
沖縄からのメッセージ!!

本作は DVD 化されておらず、フィルム上映のみです。沖縄修学旅行の事前学習として、全国の高校で上映され続けています。

沖縄の『平和の礎』を映画化

1995 年の 6 月 23 日。慰霊の日。沖縄本島南部、摩文仁の平和祈念公園で『平和の礎』の建立除幕式が行われました。沖縄戦で亡くなった 23 万余の人々の名前が、国籍を問わず、黒い石板に刻銘されて、波のように海に向かって立ち並んでいます。

沖縄戦終結 50 周年記念事業として、大田昌秀知事（当時）が中心となり完成した『平和の礎』は、平和を願う沖縄人の心として、広く世界の人々に感銘を与え、刻まれた戦死者一人ひとりの名前から、各々のドラマが語られています。

この『平和の礎』の建設が進められた中、沖縄の文化人、演劇人、映画人、そして一部の政財界人など、戦争を体験した人々の間から、沖縄の心を映像化しようという話が盛り上がりました。沖縄県民だからこそ、あの戦争を無にしないために、伝えていかなければならない沖縄戦の実相…。

一人の平凡な母親の目でとらえた、日本唯一の地上戦。その姿を通し世界へ平和のメッセージとして発信する作品となるよう、願いをこめて製作されたのが、この映画です。

「GAMA」「月桃」とは

「GAMA(ガマ)」は沖縄で「鍾乳洞」を意味する言葉です。沖縄は隆起石灰岩で形成された島々で、鍾乳洞は至る所にありました。沖縄戦のさなかには、県民の抵抗の最後の砦として機能しました。多くの避難民を抱えたガマは、軍人による強奪や虐殺の場にもなり、また米軍の標的にもなりました。その一方で、人々の尊い命を守る役割も果たしました。戦火が止んだとき、喜屋武半島のガマからはおよそ 8 万人の避難民が這い出てきたのです。「月桃（げっとう）」は沖縄の島々に自生する、ショウガ科の多年草です。葉は餅（ムーチー）を包んで蒸すために利用され、薬用植物でもあり、うちな一口ではサンニンと呼ばれます。花を咲かす時期はちょうど、沖縄戦のあった 4 月から盛夏にかけてです。



生き残った多くの人が戦火の中で見かけた月桃は…それは祈りの花でもあるのです。

【ストーリー】語れない恐ろしい秘密・・・

宮里房（72）は海辺の村で琉舞を教えながら幼稚園を営んでいる現役の園長である。同世代の沖縄のアンマーの例にもれず地獄の戦場を体験した一人である。十数名の家族や親兄弟を次々と砲爆撃に奪われ、最後に追い詰められた摩文仁岬の洞窟から母と娘だけが奇跡的に生還してきた。敵は米兵だけではなく。兵隊と避難民が雑居した洞窟の中では、いまわしい惨劇が繰り広げられていた。

だが、彼女はこれまでのあの洞窟の中で目撃した真相を誰にも語ったことがない。語るに語れないおそろしい秘密が房の胸の中には積み込まれている・・・。



うじまさだみつ 解説：牛島貞満さん

1953 年東京生まれ。2017 年 3 月まで東京都公立小学校教員。祖父は陸軍第 32 軍司令官だった牛島満中将。1994 年から沖縄で祖父について調べはじめ、2004 年より東京、沖縄で「牛島満と沖縄戦」をテーマに授業を行ってきた。さらに沖縄の基地問題について、1959 年の宮森小学校米軍ジェット機墜落事件、2004 年沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件について調査し、基地被害の実態を伝える授業や講演を続けている。また首里城の地下にあった第 32 軍首里司令部壕について、関係者への取材や米軍資料などの調査を行っている。「第 32 軍司令部壕の保存・公開を求める会」で活動中。沖縄大学地域研究所特別研究員。著書『首里城地下第 32 軍司令部壕』（高文研刊）

主催：戦後 80 年こうとう市民プロジェクト

協力：江東平和のための「戦争展」実行委員会／市民と政治をつなぐ江東市民連合

お申込み・お問い合わせ：peacekoto80@gmail.com TEL090-8508-9722（事務局・あしざわ）